

「海辺の安全と環境」 イベントの実施報告書

特定非営利活動法人気象キャスターネットワーク

1. イベントの実施

(1) 現役気象キャスターによる親子講座（沖縄）

真夏の強烈な日差しが降り注ぐ沖縄で、「夏休みこども自由研究」イベントの1つとして実施。夏休みの自由研究の課題を求め、県内の方を中心にたくさんの親子が集まる中、気象防災や地震津波を絡め、海の環境や防災・安全についての講座イベントを実施した。

日時：平成 23 年 7 月 30 日（土）14 時～15 時 30 分

場所：沖縄コンベンションセンター

テーマ：「お天気キャスターと学ぶ“海の環境と海の防災”」

講師：依田司（テレビ朝日気象キャスター）

参加者：親子 100 人

<イベント内容>

- ・座学（60 分）…出前授業の内容を中心に、実験を交えて講師の依田が説明



たくさんの親子が集まる会場に、現役気象キャスター（依田）が登場

- ・実験体験コーナー（30 分）…参加者全員に、実験に触れてもらった。



実験体験内容…津波と波の違い（左写真）、雲を作ってみよう（中写真）

※「夏休みこども自由研究」イベントについて

沖縄コンベンションセンター・琉球朝日放送が主催の県内随一の環境イベント
観光産業の貴重な資源にもなっている沖縄の自然環境をテーマに、夏休み中の子
供達の自由研究テーマとなるようなきっかけを提供。平成 20 年から毎年開催。

(2) 船の科学館での親子講座（東京）

台風 15 号が関東を直撃した 2 日後の秋分の日、臨海副都心「水辺の安全教室」（主
催：船の科学館、B & G 財団）の中で、海の防災に関するミニ講座を開催。お子さ
んは未就学児と思われる小さい子も多かったが、講話に真剣に耳を傾け、実験には
積極的に参加してくれた。

日時：平成 23 年 9 月 23 日（金）11 時 30 分～、13 時 30 分～、14 時 30 分～
（いずれも 30 分間）

場所：東京都臨海副都心「船の科学館」艇庫 2 階

テーマ：海の天気と海の防災

講師：飯沼孝（気象予報士）

参加者：親子 100 人（3 回の合計）



真剣に話を聞く子供達と保護者の皆様



雲や竜巻を作ってみよう



波（左）と津波（右）の違いを真剣に見入る

（3） 地元各局キャスターによる親子講座（大阪）

天気と海の防災（津波を含め）をテーマに、2011年に各地で大きな被害をもたらした“水”に注目した内容で親子向け講座を開催。参加者は事前募集の形をとったが、わずか数日で応募者が予定人数に達し、関心の高さをうかがわせた。

また当日は、普段なかなか触れることのできない様々な実験を体験してもらい、かつテレビでお馴染みの各局キャスターの説明で、子供だけでなく大人の方も大いに楽しみながらイベントに参加していた。参加頂いた多くの皆様に、海の天気や津波・地震などについて知ってもらい、考えてもらうきっかけになったと思われる。

日時：平成23年10月30日（日）13時30分～15時30分

場所：大阪市立科学館 地下1階研修室

テーマ：「お天気キャスターと学ぶ“水のふしぎ、水の力”」

講師：虫鹿里佳（NHK大阪気象キャスター）

サポート参加の地元キャスター：吉村真希（NHK大阪）、蓬萊大介（読売テレビ）、
西口香織（関西テレビ）、酒井千佳（テレビ大阪）

参加者：親子100人

親子で お天気キャスターと学ぶ
“水のふしぎ 水のちから”

主催：気象キャスターネットワーク・大阪市立科学館 協賛：日本樹理 助成事業

10月30日(日)
 時間：13:30～15:30
 会場：大阪市立科学館 研修室(地下1階)

楽しい！不思議！
実験や体験がもりだくさん
 (実験コーナーは14:40～15:30 ※申込み不要)

親子講座(※要申込み)
 “水”をテーマに、天気や台風、地震・津波などについて実験やクイズを通して学ぶ、楽しくなる講座です。

●日時
 10月30日(日)
 13時30分～14時30分

●対象
 小学生とその保護者

●定員
 70名程度(先着順)

親子講座のお申込み方法

FAX : 裏面の応募用紙に必要事項をご記入の上、
 03-5832-9402までお送りください。

ホームページ : 気象キャスターネットワーク (http://www.weathercaster.jp/) の
 専用申込フォームよりお申し込み下さい。

電話 : 03-5832-9401までご連絡ください。
 【受付時間：10時～17時(平日)】

締切 : 10月28日(金)

親子講座「お天気キャスターと学ぶ“水のふしぎ 水のちから”」
 参加申込書

申込先：気象キャスターネットワーク 東京

1. 参加者全員の氏名前

氏名(氏名) _____ (年齢) _____ 年

2. 代表者の氏名と連絡先電話番号

氏名 _____ 電話番号 _____

3. お住まいの市区町村

FAX送信先
03-5832-9402

大阪市立科学館 <http://www.sci.museum.or.jp/>

〒100-0005 東京都千代田区千代田4-1-1 電話 03-4444-6000
 受付時間 日8:00～17:00

1階 研修室(地下1階) 〒100-0005 東京都千代田区千代田4-1-1
 1階 研修室(地下1階) 〒100-0005 東京都千代田区千代田4-1-1
 1階 研修室(地下1階) 〒100-0005 東京都千代田区千代田4-1-1

事前告知のために制作 大阪市立科学館で配布し、参加者を事前募集

<イベント内容>

- ・座学(60分)…出前授業の内容を中心に、実験を交えて講師の虫鹿が説明



たくさんの親子が集まる会場に、現役気象キャスターが登場



クイズや実験を交えた、楽しめるかつ内容の濃い講座に

- ・実験体験コーナー（60分）…参加者全員に、様々な実験に触れてもらった。
実験説明は、各局気象キャスターが担当。



波と津波の違い（左写真、蓬萊大介）、バネを使い水流を体験（右写真）



雨量計で大雨を知ろう（左、吉村真希）、雨粒の形を見よう（中、酒井千佳）、雲を作ろう（右、西口香織）

（４） 「ボートショー2012」での親子講座（横浜）

ウォーターセーフティニッポン（WSN）からの強いご要望を受け、パシフィコ横浜で催された「ジャパン・インターナショナルボートショー2012」のWSNブース内で親子講座を実施。海に関心を持つ来場者の皆様に、海の安全について伝える機会を頂いた。中でも4日（日）については、紙芝居での活動を行っている漫画家学会の協力を得て、より多くの来場者にブースに足を運んで頂き、盛況な講座となった。

○平成24年3月3日（土）

10時20分～ 13時00分～、16時00分～（いずれも30分間）

- ・テーマ：海の天気と水辺の防災
- ・講師：飯沼孝（気象予報士）
- ・参加者：親子200名（3回の合計）



海に関心のある来場者に向けて、実験を交えたミニ講座を開催

○平成 24 年 3 月 4 日（土）

10 時 20 分～ 13 時 00 分～、15 時 40 分～ （いずれも 40 分間）

- ・テーマ：紙芝居をまじえて学ぶ、海の天気と海の環境
- ・講師：岡田亜紀子（気象予報士）、紙芝居学会
- ・参加者：親子 230 名（3 回の合計）



気象予報士による海の天気と、紙芝居師による海の環境の話

（5） 地元各局キャスターによる親子講座（名古屋）

2011 年 10 月の大阪でのイベントが大変好評であったことから、同じ科学館のつながりで名古屋の科学館でも同様のイベントを開催。こちら参加者は事前募集の形をとり、応募者が予定人数（親子 100 名）を大きく上回ったが、大きな会場を利用し応募者全員（160 名）に参加頂いた。また大阪と同様に地元キャスターの協力で、大変盛況なイベントとなった。

日時：平成 24 年 3 月 24 日（土）13 時 00 分～15 時 00 分

場所：名古屋市科学館 生命館地下 2 階 サイエンスホール

テーマ：「お天気キャスターと学ぶ“水のふしぎ、水のちから”」

講師：植木奈緒子（NHK 名古屋キャスター）、山田修作（メ〜テレ気象キャスター）

サポート参加の地元キャスター：寺尾直樹（NHK 名古屋）、菊池真以（東海テレビ）、
多森成子（三重テレビ） など

参加者：親子 160 人

<イベント内容>

- ・座学（60分）…前半を植木、後半を山田が中心となり説明



大きなホールで、身体を張った説明をする講師（左：バネを利用した水流体験）



各局キャスターのサポートによる、ステージ上での津波と波の違い実験

- ・実験体験コーナー（60分）…参加者全員に、様々な実験に触れてもらった。
実験説明は、各局気象キャスターが担当。

2. アンケート

名古屋市科学館でのイベントについて、アンケートを集計しました。

(1) アンケート用紙

以下の用紙を受付時に参加者（保護者）に渡し、イベント後回収、後日集計した。

保護者の方へ
アンケートのお願い

① 今回の親子講座を何で知りましたか？

名古屋市科学館のホームページ 知り合いなどから聞いて
 広報なごや 気象キャスターネットワークのホームページ
 テレビ その他（ ）

② 参加した人数 大人____名 子供____名

③ 今日の親子講座はどうでしたか？（複数回答可）

楽しかった つまらなかった
 まあまあ楽しかった どちらともいえない
 興味がなかった ちょうどいい 難しすぎた

④ 親子講座の中で興味を持った内容はどれですか？（複数回答可）

雲 雨粒 集中豪雨
 竜巻 台風 波や津波
 自然災害から身を守る方法 その他（ ）

⑤ 実験・体験コーナーの中でおもしろかったのはどれですか？（複数回答可）

雲づくり実験 津波発生実験 雨粒の観察
 竜巻実験 水流体感実験 気象キャスター体験

⑥ 今後どんなテーマの親子講座に参加したいですか？（複数回答可）

天気と防災 地球温暖化
 海の問題と安全 自然や生態系の保護
 新エネルギーと省エネ その他（ ）

⑦ 感想・ご意見などございましたら、ご記入下さい。

ありがとうございます。

NPO法人 気象キャスターネットワーク

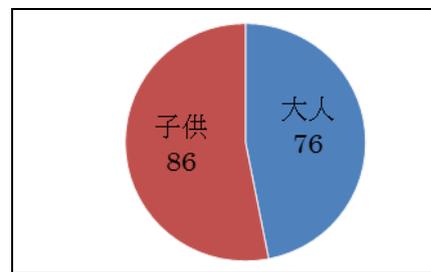
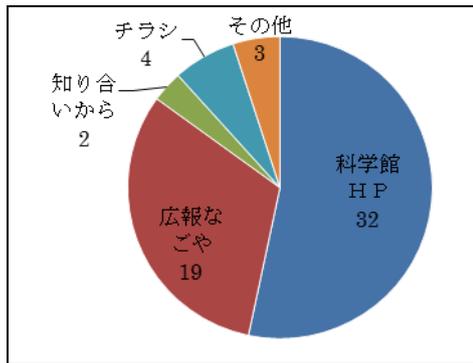
(2) アンケート結果

参加したご家族 60 組から回答を頂いた。

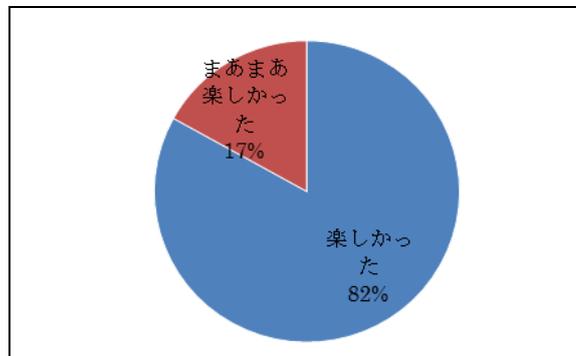
講座内容については「楽しかった」が8割を超え、概ね満足頂いたようである。とくに津波への関心が高く、興味をもった項目は半分近くが「波や津波」と回答。ただし今後参加したい講座テーマは「自然や生態系保護」が最も多く、出前授業と同様にイベントでも“環境”と絡めて海についての話をすると、関心がさらに高まるのかもしれない。

Q 1. 講座を何で知りましたか？

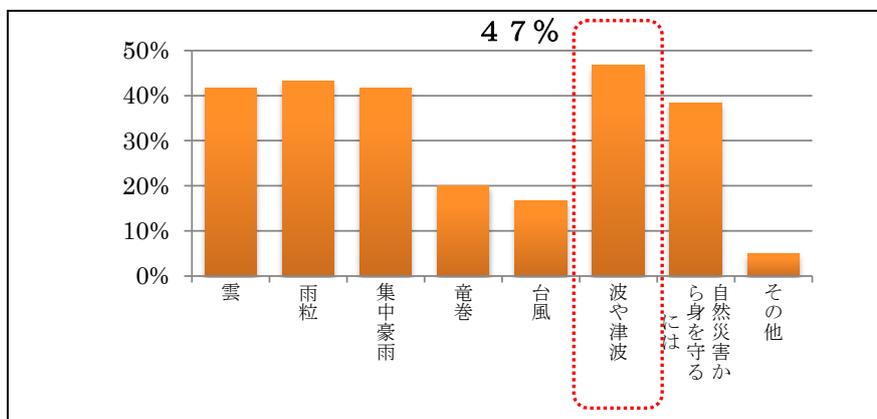
Q 2. 参加人数は？



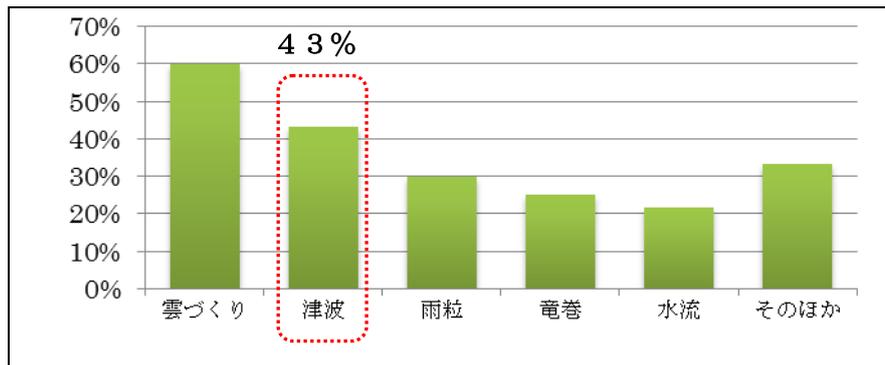
Q 3. 講座内容はいかがでしたか？



Q 4. 講座で興味をもった内容は？（複数回答）



Q 5. 実験コーナーで面白かったのは？（複数回答）



Q 6. 今後参加したい講座テーマは？（複数回答）

